

心を文字に表す 席書会

新しい年を迎え、白い書き初め用紙に向かい、今年一年の抱負を胸に一文字一文字心を込めて丁寧に書く。書き初めは、日本の古くからの伝統を受け継ぐ大切な行事であり、書くことで清々しい気持ちを感じることができます。文字は人を表すと言いますが、心を込めて書いた作品はどれも個性に溢れ、何かを語りかけてくるようです。昨年の展覧会で書写作品に取り組んだ子どもたちの練習の中で見せた集中力や真剣さはすばらしいものでした。展覧会での経験を生かし、お手本に習ってのびのびと大きく書くことをめあてに、各学年で席書会を行います。1・2年生は硬筆、3年生から6年生は毛筆です。作品は12日(土)から25日(金)まで、校内に展示されますので、どうぞご覧ください。また、6年生の代表児童は、学校代表として15日(火)に滝野川会館で行われる北区の席書会に参加します。(国語担当 三枝 由美子)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1、2年生の作品・・・各教室前 | 3年生の作品・・・3階廊下 |
| 4年生の作品・・・1階廊下 | 5、6年生の作品・・・4階廊下 |

6年生紹介

早いもので、6年生の卒業まであと3ヶ月を切りました。4月5日、他の学年の子供たちが春休み最後の日を楽しんでいる時から、6年生としての活動が始まりました。クラブ、委員会、縦割り班、1年生の看護など、色々な場面で「最高学年」としての役割を求められるようになりました。初めはまだ頼りないところもありましたが、様々な活動や行事を経る中で、少しずつ「最高学年」としての役割が板に付いてきたように思います。運動会では、5年生に手取り足取りソーラン節の動きを教えていました。他の学年の子供たちが気付かない体育館の道具の撤収や椅子並べ、展覧会に向けての会場作りなどにも嫌な顔をせず取り組んでいました。こうした地道な活動の積み重ねで少しずつ力を蓄えていきました。卒業まで3ヶ月。「もう3ヶ月しかない」とも言えますし、「まだ3ヶ月もある」とも言えます。卒業までの3ヶ月でまだまだ力を付け、発揮してくれるものと楽しみにしています。(6年担任 横田 勉, 鈴木 周子)

日光高原学園〔三本松〕



1月の生活目標

明けましておめでとうございます。平成最後の年が幕を開けました。1月の生活指導目標は、「あいさつをしっかりしよう」です。新しい年を迎え、家族や親しい人々とあいさつを交わす機会もあったことと思います。そうしたあいさつを、もっと多くの場面で“当たり前”に交わせるようになってほしいと思っています。朝や帰りに、顔を合わせているのに、まるでそこにはいないかのように知らん顔をして通り過ぎていく子供もいます。人と人との関わりを繋ぐあいさつ、そうしたあいさつを定着させていきたいと思っています。ご家庭でも、是非お声掛けの程、よろしく願いいたします。(生活指導主任 横田 勉)

1月17日(木)は、1月分の給食費の引き落とし日です。口座の残高にご注意ください。また、2月は、今年度最後の引き落とし(2・3月分)ですので、ご承知おきください。